

2020年10月27日

各 位

### 当社石油製品の生産・供給体制の再構築について

当社（社長：大田 勝幸）は、パラキシレンをはじめとする石油化学製品等の生産を行っている知多製造所（所長：安藤 博史、愛知県知多市）について、2021年10月を目途に、製造機能を停止することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

石油精製販売および石油化学事業を取り巻く環境は、国内石油製品の構造的な需要減退やアジアを中心とした国際競争の激化など、厳しさを増しております。こうした事業環境を踏まえ、当社では、2017年4月のグループ発足以降、安全・安定操業および安定供給を前提に、製油所・製造所の最適な生産・供給体制の構築に関する検討を重ねております。

この間、2019年4月に「室蘭製造所の事業所化」および「川崎製油所と川崎製造所の組織一体化」、2020年10月に「大阪製油所の事業所化」を実行し、さらに、2020年12月に千葉製油所を中国石油国際事業日本株式会社と合併で運営する輸出型製油所とすることを決定しておりますが、これらに加え、知多製造所の製造機能停止が必要であるとの結論に至りました。

当社は、基盤事業である石油製品・石油化学製品事業におけるサプライチェーン全体の競争力強化を図り、安定供給を前提とした最適な生産・供給体制の構築を、スピード感をもって推進してまいります。

なお、今般、出光興産株式会社との間で基本覚書を締結し、当社が知多製造所の製造機能を停止した後のパラキシレンをはじめとする石油化学製品の製造設備の一部について、同社への譲渡を協議することに合意いたしましたので、併せてお知らせいたします。

以 上

## <知多製造所の概要>

所在地	:	愛知県知多市北浜町25番地
操業開始	:	1973年(昭和48年)
所長	:	安藤 博史
従業員	:	181名(2020年10月1日現在)
敷地面積	:	約130万㎡
装置構成	:	接触改質装置 23,500バレル/日
		芳香族回収装置 21,000バレル/日
		パラキシレン製造装置 400,000トン/年
		トルエン不均化装置 8,800バレル/日
		シクロヘキサン製造装置 220,000トン/年

## <ENEOSの製油所・製造所体制>

### ● 製油所10拠点

原油処理能力：合計1,868.8千B/D

\* 下図の各製油所の数字は2020年10月27日時点の原油処理能力

### ▲ 製造所2拠点

